

について、小職より情報提供した。

8. その他

(1) 会員数について（三戸常任理事）

平成30年7月31日現在の当会会員数は8,337名で、内訳はA会員2,447名、B1会員618名、B2会員4,647名、C1会員100名、C2会員128名、C3会員397名となった。なお、日医会員数は5,836名となっている。

道総医協関連事項（深澤副会長）

1. 地域保健専門委員会難病対策小委員会（北海道難病対策協議会）第2回ワーキング [8月8日（水）]について（三戸常任理事）

北海道における新たな難病医療提供体制の構築に向けて、医療機関の情報等を整理し、難病診療連携拠点病院等の選定方法、移行期医療支援体制の方向性を検討していくこととなった。

2. 第1回慢性腎臓病対策連絡会議および第1回地域保健専門委員会糖尿病対策小委員会 [8月22日（水）]について（藤原副会長）

慢性腎臓病対策連絡会議では、北海道における透析患者の状況について、導入患者数は一時減少したものの、平成28年には増加に転じ、平均年齢は上昇していると報告があった。また、糖尿病重症化予防（慢性腎臓病）対策の実施状況等について各団体より説明があった。その後、今年度の世界腎臓デー啓発パネル展について協議した。地域保健専門委員会糖尿病対策小委員会では、北海道医療計画における数値目標達成に必要な施策等について報告したほか、糖尿病連携手帳を窓口で提示するよう促す媒体の作成・配布、糖尿病の医療機能を担う医療機関の公表基準にある“合併症”についての記載について、今後協議していくことを確認した。

3. 第3回地域保健専門委員会 [8月24日（金）]について（藤原副会長）

北海道におけるがん診療連携拠点病院については、国の通知にもとづきより厳しい要件で新たな審査基準を設けることとした。また、北海道がん診療連携指定病院整備要綱について一部文言を整理した。

道医の動き

- 8月18日 第3回理事会、政経問題懇話会
- 8月19日 産業医学実践研修会
- 8月21日 日医理事会（長瀬会長）
- 8月22日 介護保険制度・障害者総合支援法にかかわる主治医研修会（美幌町、伊藤常任理事）
- 8月24日 医療事故防止研修会（函館市、後藤・橋本両常任理事）
- 8月25日 健保請求事務講座、日医生涯教育協力講座セミナー

- 8月27日 三役会
- 8月28日 第12回常任理事会
- 8月29日 医事紛争処理委員会、介護保険制度・障害者総合支援法にかかわる主治医研修会（厚岸町、水谷常任理事）
- 8月30日 日医医療情報システム協議会運営委員会（藤原副会長）、医業経営講習会（中標津町、岡部常任理事）
- 9月1日 医師事務作業補助者スキルアップ講座
- 9月4日 臨床研修医との懇談会（函館市、長瀬会長、小熊副会長、櫻井・青木両常任理事）
- 9月5日 北海道厚生局との打合せ
- 9月6日 健保請求事務研修会（帯広市）
- 9月7日 産業保健研修会（室蘭市、生駒常任理事）、地域医療に関わる地域別意見交換会（根室市、長瀬会長、藤原副会長、伊藤・目黒・岡部・笹本各常任理事）
- 9月10日 三役会、表彰選考委員会